

カートリッジヒーター

# ウルトラファイブ UL規格

● UL規格のコンポーネント認定品です

適用規格 : UL499

製品カテゴリ : KSOT2

ファイル No. : E531836

## 取扱説明書

ご購入あげいただき、ありがとうございます  
お使いになる前に、この「取扱説明書」をお読みください。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。



### 本機を安全にご使用いただくために

本機には、安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。



**警告**

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または負傷する危険の状態が生じることが想定される場合。



**警告**

● ヒーターへの通電は、完全に金型に挿入してから行う

金型への挿入が不完全での通電は、火災・火傷・漏電・早期断線の原因になります。



● アースを取付けて使用する

守らないと、漏電・感電の原因になります。



● 表示された電源電圧を超える電圧では使用しない

表示された電源電圧より大きい電圧で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。



● 次のような場所では使用しない  
火災・感電・故障の原因になります

- ・爆発性、引火性のある雰囲気中および腐食ガス雰囲気中
- ・水中や、水滴・蒸気がかかる場所
- ・高湿度雰囲気中



# 本機を安全にご使用いただくために

本機には、安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。



**注意**

## ●ヒーターの交換は、電源を切ってから行う

ヒーターの交換は電源を切り、金型が常温に下がっていることを確認してから行ってください。抜き取ったヒーターはすぐ可燃物の上に置かないでください。火災の原因になります。



## ●保管する場合は乾燥剤と共に密封容器を使用する

保管が必要な場合は、乾燥剤と共に常温雰囲気中で密封容器に入れ保存してください。



## ●電線部仕様2のヒーター末端部分(リード線の引き出し部分)は、200℃以下の雰囲気温度で使用する

守らないと、漏電・故障の原因になります。



## ●穴加工に使用したオイルおよび付着したゴミなどは除去する

オイル・ゴミなどが残っていると、オイルが加熱され炭化物となり、熱伝導が悪くなります。また、異臭・発煙の原因になります。



## ●金型の穴加工は、ヒーター径プラス0.1mm以下とする

0.1mm以上だと熱伝導が悪くなり、漏電・故障の原因になります。穴の内面はリーマ加工仕上げをお勧めします。



## ●ヒーター電線は圧着端子を使用して確実に接続する

圧着端子を使用しないと、漏電・感電の原因になります。



## ●ヒーターを改造しない

ヒーターの形状を変えるなどの改造をすると、火災・感電の原因になります。



## ●抜き取ったばかりのヒーターは素手で持たない

ヒーター交換時に、抜き取ったヒーターを素手で持つと、火傷の原因になります。



## ●ヒーター末端部分には、水・油・離型剤などをかけない

漏電・感電の原因になります。



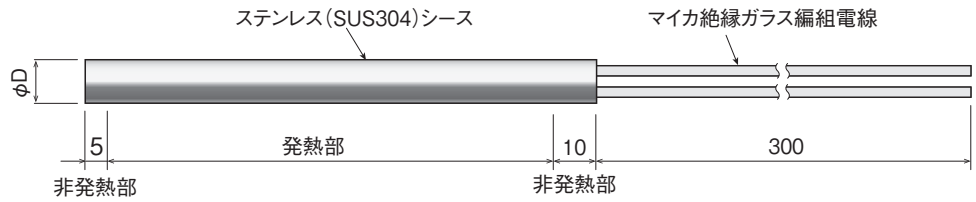
## ●ヒーターの電線を引っ張る取扱いは行わない

漏電・感電の原因になります。

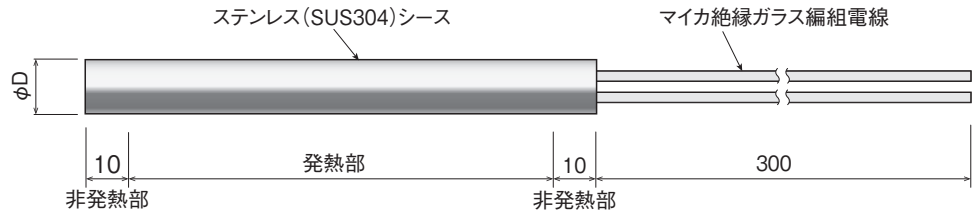


# 各部の名称及び寸法・仕様

φ8～φ14



φ15～φ20



ヒーターシース : SUS304 (ステンレス)

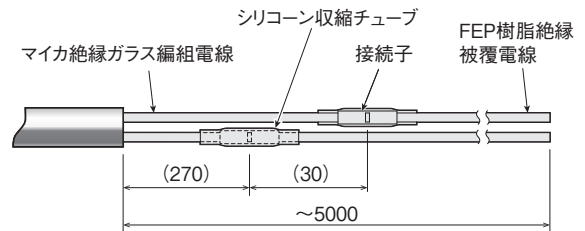
電線 : マイカ絶縁ガラス編組電線  
(耐熱温度 450℃, ニッケル芯線)

延長電線※ : FEP樹脂絶縁被覆電線  
(耐熱温度 200℃, 銅芯線)

電線接続部保護チューブ※  
: シリコン収縮チューブ (耐熱温度 200℃)

※ 電線延長仕様のみ

## 電線部仕様2



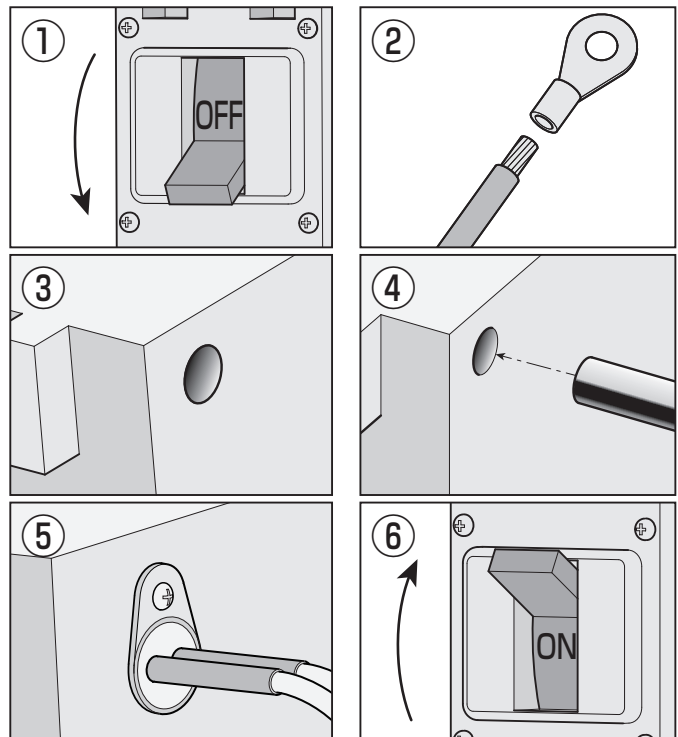
**注意**

UL 規格認証品に組み込んで使用する場合

- ・ 最高使用温度：シース表面温度 400℃
- ・ 装置の稼働時、装置のクリーニング時に電線が可動するような用途には使用不可。
- ・ 電線仕様は装置の UL 規格をご確認の上決定してください。

## 使用方法

- ① ブレーカーなどの電源を OFF にします。
- ② ヒーターの電線を圧着端子を使用し、電源側電線と直接または端子台などを介して確実に締め付け接続します。
- ③ 金型のヒーター挿入穴内のオイルおよびゴミなどの残留異物を除去します。
- ④ 金型のヒーター挿入穴にヒーターを挿入します。
- ⑤ ヒーター抜け防止のため、フランジ、留めねじまたはストッパーでヒーターを固定します。
- ⑥ ブレーカーなどの電源を ON にし、ヒーターの運転を開始します。
- ⑦ 運転終了時は必ずブレーカーなどの電源を OFF にしてください。



# アフターサービス

## ●ご不明の点がありましたら

ご使用にあたってご不明な点や、使用中にお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店またはお近くの(株)八光電機 支店・営業所・販売会社までご連絡ください。

## 株式会社 八光電機 支店・営業所・販売会社一覧

### ○株式会社 八光電機 営業本部

本部・東京支店	〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-7-9	TEL (03)3464-8500 FAX (03)3464-8539
仙台支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 3-10-7 サンライン第66ビル1階	TEL (022)257-8501 FAX (022)257-8505
宇都宮支店	〒320-0065 宇都宮市駒生町 1359-42	TEL (028)652-8500 FAX (028)652-5155
大宮支店	〒331-0804 さいたま市北区土呂町 2-10-15 深澤ビル1階	TEL (048)667-8500 FAX (048)667-0008
大阪支店	〒553-0003 大阪市福島区福島 8-16-20 MSビル	TEL (06)6453-9101 FAX (06)6453-5650
福岡支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-7-28 アバンダント94 1階	TEL (092)411-4045 FAX (092)409-1662
札幌営業所	〒060-0042 札幌市中央区大通西 13-4-104 北晴大通ビル 402	TEL (011)252-7607 FAX (011)252-7639
京都営業所	〒601-8313 京都市南区吉祥院中島町 2-2 新栄ビル 3階	TEL (075)682-8501 FAX (075)682-8504

### ○岡山八光商事株式会社

本社	〒700-0926 岡山市北区西古松西町 5-6 岡山新都市ビル 404	TEL (086)243-3985 FAX (086)243-8514
松山営業所	〒790-0003 松山市三番町 7-13-13 ミツネビル	TEL (089)935-8517 FAX (089)935-8507

### ○長野八光商事株式会社

本社	〒389-0804 長野県千曲市大字戸倉 1693	TEL (026)276-3083 FAX (026)276-5163
金沢営業所	〒920-0024 金沢市西念 3-2-1 金沢篠田ビル	TEL (076)225-8560 FAX (076)225-8573

### ○名古屋八光商事株式会社

本社	〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル 2階	TEL (052)732-8502 FAX (052)732-8505
静岡営業所	〒422-8064 静岡市駿河区新川 2-1-40	TEL (054)282-4185 FAX (054)282-1500

### ○八光電熱器件(上海)有限公司 [www.hakko-china.com](http://www.hakko-china.com)

上海総公司	201600 上海市松江区俞塘路 512 号 3 幢 2 楼 (天威工業城)	TEL (86)21-57743121 FAX (86)21-57741700
広州分公司	510620 広東省広州市天河区体育東路 122 号 羊城国際商貿中心 西棟 25 階 A01 室	TEL (86)20-28818681

### ○HAKKO (THAILAND) CO., LTD. [heater.hakkothailand.com](http://heater.hakkothailand.com)

9/41 Moo 5, Paholyotin Road, Klong 1, Klong Luang, Patumthani, 12120, Thailand	TEL (66)2-902-2512 FAX (66)2-516-2155
--	---------------------------------------

### ○株式会社 八光電機 生産本部

本社工場 〒389-0806 長野県千曲市大字磯部 1486